

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が流行しており少し用心しているが、しばらくすれば落ち着きそうである。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・例年、年末年始が明けて1月は一番消費が落ち込む月だが、第6波の影響で、1人当たりの買上点数は増えていないものの、平日の日中や週末の来客数が増加したことにより売上増加につながっている。
	○	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・スーパーの食品ギフトコーナーは、年末年始は前年の3割増加であった。年明けの福袋も前年を超えた。必要な商品の購入意欲は高いと思われる。
	○	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置により、内食がまた進んでいる。催事コーナーに最近並べた198円のカップラーメンの売行きが良い。3個買うとお買い得になるので、3個買いが多い。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年比で来客数、客単価共に上昇した。アルコール類や総菜、冷凍食品の販売が好調なのが大きい。プレミアム付商品券が1日に5000円程度使用され、貢献は小さくなかった。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・土木建築関係の仕事に必要な消耗品を購入する客が増えている。ただし、車関係のように業種によっては厳しい状況である。
	○	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・1月は来客数がかなり多く、予算は100%を達成した。ただし、競合他社では少し低かったという話を耳にしている。
	○	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今月前半から中旬にかけては新型コロナウイルス感染もまだ落ち着いていたので、来店も多く成約に結び付いた。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・予想どおり年末年始を過ぎてから新型コロナウイルス新規感染者数は急激に増えているものの、来店客の反応は悪くない。コロナ禍になって長い時間がたち、新型コロナウイルスオミクロン株は重症化リスクが低いことで危機感が薄れてきていることが理由であると思う。商談数も増え、納期の掛かる商品でも商談がまとまる。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・引っ越しに伴う新規契約の増加と、在宅ワークによるネット回線の申込みが増加している。
	○	理容室（経営者）	お客様の様子	・客が余りあちこち出歩かなくなって定着している。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・年末年始は好調で販売量が80%くらいは戻っていたが、年明けに新規感染者数が増えまん延防止等重点措置が適用されてから、来客数がかくと落ちて元の販売量に戻った。
	□	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が大変なことになっているが、もうコロナ禍には慣れてしまった。
	□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が来店しない。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染を怖がる客は特に高齢者に多く、やはり売行きは鈍い。特に高価な洋花を廃棄することが増えた。ギフト需要も、人に会うことが少なくなったのが最近はやや少ない。
	□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・年末年始は久しぶりに浮き足立った雰囲気があったが、長続きせずにはすっかり落ち着いてしまった。
□	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大で売り込みが難しくなっている。	
□	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は、年明けのクリアランスセールではまずまずであったが、3連休が終わった後はがたと減った。通りすがりに見ていくだけの客が多いため、販売には結び付いていない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・年末～1月中旬は、来客数が前々年に届かないまでも大幅に前年を上回り、それに伴い売上も好調に推移してきた。しかし、新型コロナウイルスの影響によりまん延防止等重点措置が適用される状況に逆戻りして、下旬からは前年実績を下回るようになった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	販売量の動き	・12月中旬より回復傾向にあったが、新型コロナウイルス感染の再拡大により激減している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・週末は変わらないが平日の来客数がぐっと少なくなっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・来客数、客単価共に大きな動きはない。第6波の感染拡大傾向はあるが、コロナ禍での生活スタイルも定着してきているようで、大きく消費行動を変えるまでには至らない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用されたが、急激な変化は感じられない。売上の前年比も、前月と同程度で推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比で多少上向きではあるが、新型コロナウイルスの感染状況次第で増減があるため、はっきり増加傾向とはいえない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・行動規制が緩和されて一時期は客の消費も回復傾向にあったが、その後は思うような回復には至っておらず、3か月前と大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業者で景気が良いと言っている会社はゼロである。アパレル関連は、展示会、受注、店頭販売の全てにおいて景気が悪い状況である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・テレビは経年劣化の買換え需要で台数が伸び、単価も伸びている。一方、エアコンやパソコンには前年の勢いがなく、全体としては大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。客との会話でも、近所にも新型コロナウイルス新規感染者数が増えて外出がおっくうになるという話が多い。ガソリン代の高騰もあり外出が少ないことから、来客数が減ることが考えられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の受注状況は悪くないが、納車時期が後ずれしており年度末の業績が読めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売に関しては、納期が掛かるため自社客で早めの乗換えが進んでおり順調である。しかし、新型コロナウイルスのまん延で納期が大幅に遅れており、販売時でもおおよその納期でしか伝えられず、納期が更に延びていくため、販売しても迷惑をかけてしまっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・問合せもぼちぼちあって、客からはそろそろ金を使ってアクティブになりたいという気持ちが感じられ、今月は動きが割と良かった。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大で、一旦リフォームや改修工事なども出始めたもののまた様子見の状態に入り、新築工事と共にやや弱気な状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・1月になって再び、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が現れてきた。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・中途半端なまん延防止等重点措置を出されると、微妙に警戒感がありどっちつかずの動向になる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・一棟借りの客があり助かっている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の急激な感染拡大によって、大量の旅行取消しと申込みの激減、これから1～2か月後のスポーツ大会の計画中止など、新型コロナウイルス変異株による第5波に続いて、旅行需要は壊滅的な状況に追い込まれている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・終息に向かうかと思われた前年末には団体旅行を計画する数件の動きがあったが、年が明けたら全て見送りとなった。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と同じで現状維持が続いている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	来客数の動き	・どの店も客が減っている。

□	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の入場者数はほぼ予算どおりで前年を大きく上回った。ここ3か月の入場者数は、年末の積雪による減少を除き順調に推移している。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、休業とまではいっていないが客も来店を控えているため、やはり暇である。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・コロナ禍の大幅な新規感染者数の増加で、横ばいは変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売としては横ばいであった。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	販売量の動き	・今月は企業のまとまったトイレ改装工事を受注したので、件数は少なくとも売上金額は平月の2倍となっている。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・繁忙期に入っているのですが3か月前よりは動きがあるが、まん延防止等重点措置に入ってしまったため、例年よりはやはり悪い状況である。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用されてから人の流れや来客が減った。年始辺りは人出も増えてきていたが、1月中～下旬にかけては、どこへ行っても比較的すいている印象を受ける。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・まさしく新型コロナウイルスオミクロン株で右往左往した。3連休の前後で、商店街への客の来店が全く変わった。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・今月中旬からワクチン未接種の低年齢層での新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が激増し、この地域もまん延防止等重点措置の適用となった。目に見えて観光客が激減している。幼保園、学校、寮や家庭内で感染が広がって、収束のめどはいつのことやら。自分の命を自分で守る人が増えないと、経済の停滞が続く。
▲	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・1月は新型コロナウイルスの新規感染が日に日に拡大し、客の付き合いが段々と減ってきたのが目に見えて分かった。せっかく3か月前から年末にかけて結婚式、イベント等が再開されるようになったのが、1月になって急にストップし始めキャンセルが多くなった。したがって、贈答品、記念品、イベントに関するいろいろな売上がキャンセルされたり縮小されて、悪かった。
▲	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・バレンタイン催事は想定以上の入店状況であるものの、新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大により、これまで好調であった時計、宝飾や海外特選ブランドなど株高による資産効果がはく離し、売上が厳しい状況である。全体的にも、なかなか回復基調に至っていない。
▲	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・初売りなどで1月初旬は来客数も伸びており、高単価商品も稼働していた。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の流行で日に日に減少し、テナントビルのイベントが始まっても来客は伸びず、感染拡大により状況は厳しい。
▲	百貨店（業績管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加しまん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数、売上共に減少傾向にある。
▲	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増の影響が大きく、来客数も急激に減少しており、買上意欲も少し前と比べて減退してきていると感じられる。
▲	スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小小売店やスーパーでは買上品数が減少しており、中小飲食店では夜の来客数が減少している。
▲	スーパー（店長）	単価の動き	・し好品やごちそう品の動きは弱く、安価な商品への意識が強まっている。
▲	スーパー（店員）	お客様の様子	・原材料の価格高騰が相次ぎ多くの商品で値上げが増えているため、1品単価は上がっているものの販売数量はダウンしている。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・年末商戦の盛り上がりから一息つくかと予想したが、良い天候に恵まれたこととまん延防止等重点措置の適用により、自宅用の菓子や果物の需要で売上が順調だった。

▲	スーパー（ブ ロック長）	お客様の様子	・商品単価は前年を上回っているが、来客数、買上点数は未達であった。年始を過ぎて通常時期に入ると、客は支出を抑制する苦しい状況が続いている。
▲	スーパー（支店 長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延し第6波がやってきたため、まん延防止等重点措置も適用され、それに伴い当然のごとく消費も縮小した。この状態がいつまでも続くのは本当に苦しいことである。そうはいいながらも、何とかしのぐ方法を考えて前向きにしようと思っている。
▲	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により、まん延防止等重点措置も適用され、繁華街は急速に人流がなくなってしまった。
▲	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、夜の来客数が減少傾向である。
▲	コンビニ（店 員）	来客数の動き	・年末年始で来客数が減って厳しかった。今年は帰省した人も多かったと思う。
▲	コンビニ（本部 管理担当）	来客数の動き	・売上は前年比103.9%であった。新型コロナウイルスオミクロン株のコロナ禍としては想定以上の売上で推移している。そのため、現時点で3か月前と比較し消費が落ち込んでいると定量的には判断できない。ただし、定性的な体感としては景気が下降に転じているように思料する。
▲	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用前から外出を控える傾向にあったが、今は商店街も人の往来が極端に少なくなってきた。バーゲンセールで半額にしているが、商品や予算を決めて来店するため、試着しても購入はしない客が多い。
▲	家電量販店（フ ランチャイズ経 営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で今までより身近に感じられるようになり、来客数が前年比8割に落ち込んでいる。
▲	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・客との会話のなかで、最近生活関連商品の値上げが実感として身に染みるという言葉をよく聞くようになってきた。新型車両が発表され、客には高く関心を持ってほしいが、身近な問題としてそこまで生活に余裕がないと、余り自分事として受け止めてもらえない。
▲	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・半導体部品の遅れで、新車の生産がかなり遅れている。通常1月に注文を受けた場合は3月までには納められるが、今年は納期が3か月～半年以上となっていて、好転の兆しが全く感じられない。そのうえ、ガソリン価格が高騰して客が車を使う機会は減り、新車への代替やサービス工場への入庫が減り、負のスパイラルとしかいえない状況になりつつある。
▲	その他専門店 〔貴金属〕（経 営者）	来客数の動き	・第6波へのまん延防止等重点措置により、これまで以上に通行者数が減少した。1月決算の当社としては、前年以上の影響を受けている。
▲	その他専門店 〔雑貨〕（店 長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により客足が減っている。
▲	その他専門店 〔書籍〕（店 員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でまん延防止等重点措置が適用され、人出も少なくなった。単籠り需要も今回は少なく、売上も前年比5%ほど減少している。
▲	高級レストラン （経営企画）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の大幅増加に伴い、前回とは相違してまん延防止等重点措置が適用される正月明けから来客数の減少が始まっている。街頭の人出は大きくは減少していないが、密集する空間を避ける傾向は早く、また、より強く意識されていると思われる。
▲	一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・新年早々から、新型コロナウイルスオミクロン株の影響だと思いが客が外出を控えているように見受けられる。販売量も例年より落ちている。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。特に、新型コロナウイルスオミクロン株は感染力が非常に強く、それを懸念して皆足が遠のいている様子である。
▲	バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株でまん延防止等重点措置が適用され、時短営業や休業で厳しい。人出がない。

▲	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	販売量の動き	・12月には新型コロナウイルスの影響が少なく、取引先の様子や来店客の様子も、新型コロナウイルス発生前と変わらない販売量、購入量であった。1月になってまん延防止等重点措置が適用されると、想像していた以上に客は自粛ムードとなった。飲食店の売上は、まん延防止等重点措置が適用される前の3割程度まで落ち込んでいる。
▲	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3連休過ぎから新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が拡大し、当県もまん延防止等重点措置が適用となった。こういった外部的要因から新規予約は入らず、来客数も減少した。
▲	都市型ホテル (営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により集客状況が落ちていると思われる。宿泊稼働が半分くらいに落ち込んでいる。
▲	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・ターミナル駅の地下街で長期間休業していた飲食店が、前年12月に再開したと思ったら新型コロナウイルスオミクロン株の影響か、再度休業してしまった。その他にもまん延防止等重点措置によって、軒並み飲食店だけではなく旅行業の営業所も来店客がいなくなっている。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・1月の途中までは非常に好調であった。今年は初詣客も多く順調で良かったが、中旬頃から客が減った。特にまん延防止等重点措置が適用されてからは、夜の街がゴーストタウンのようなひどい状況になってしまい、売上が激減した。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・今月中旬より訪問活動はアポイントのある会社のみとしている。3か月前は先方からの新規申込みの依頼等で訪問活動をしていたが、今月は1件もなかった。
▲	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置がほとんどの県で出ている状況になっている。
▲	理美容室 (経営者)	来客数の動き	・1月は暇な月ではあるが、それにしても客が来ない。
▲	美顔美容室 (経営者)	来客数の動き	・全国的な動向であるが当地でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたため、来店を控えたいという客がいる。
▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・当県もまん延防止等重点措置適用となり、新型コロナウイルスの感染拡大もひどいため、景気は3か月前より悪い。
▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	それ以外	・仕入原価の値上げがぼろぼろと出始めている。
▲	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・11~12月にかけては事務所の移転案件で忙殺されていたが、ほぼ業務の終了が近づき、今後の案件がない。
▲	設計事務所 (職員)	お客様の様子	・客との会話で景気の良くなる話は全く出てこない。
▲	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・リフォームができる大工は忙しいが、新築しかできない大工は時間がある様子である。
▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	それ以外	・ウッドショックもあるが、建築資材が全般的に値上がりし利益を圧迫している。世界各国の新型コロナウイルス感染の収束と景気回復を期待している。
×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・大型ホテルの宴会部門の予約が軒並みキャンセルでほぼ停止状態にあり、繁華街の飲食店も軒並み休業と聞いている。新型コロナウイルスオミクロン株が余りにも急激に拡大したため、人流がストップしている。
×	一般小売店 [酒類] (経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用で飲食店はほとんど休業し、営業している店でも、客が来ないので休業しようかと店主が言っていた。飲料の注文はほとんどなくなり、スタッフは休みにした。
×	百貨店 (経理担当)	お客様の様子	・今月に入ってから新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、学校等の休園休校、企業の出勤抑制や生産の一時停止など社会経済、生活に大きな支障が生じている。
×	百貨店 (販売促進担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延し、警戒感の高まりによる来店自粛の流れが強まっている。

×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・月初めは、年始のにぎわい等で販売量が通常期並みに多い状態となっていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染再拡大により中旬から人流が抑制されている影響で、緊急事態宣言発出時のように来客数が減少している。
×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてからの週末の売上が今までになく大きく落ち込んだ。平日は仕事で家を出るが、週末は感染力の強い新型コロナウイルスオミクロン株を警戒して、家から出ない人が多い。
×	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・月初めまでは順調に回復基調にあった来客数が、新型コロナウイルスオミクロン株拡大によるまん延防止等重点措置の影響で、中旬以降大きく下降した。テレワーク等による出勤抑制の影響からか2019年比50%台の日も続き、日配品を主体に売上が伸び悩んでいる。
×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルスに尽きる。第6波がひどすぎる。
×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用された。
×	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置にのっとり、夜は9時まで、アルコール提供は8時までの制限で営業しており、大変である。
×	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の期間に入り、客が出掛けるのを控えている。
×	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから、入りかけていた一般宴会はストップし、入っていた予約もキャンセルが相次いでおり最悪の状況である。個人宿泊もしかりで、どんどん減少の一途をたどっている。今月末～来月のまん延防止等重点措置の期間中に、3～4日間の全館休業をせざるを得なくなった。
×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によるまん延防止等重点措置の適用以降、宿泊は激減している。宴会もキャンセルされている。レストランは夜の客が入らなくなった。さらに、知事の緊急事態宣言への移行発言が出始めると、少ない予約も入らなくなってきた。
×	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのまん延により、需要の低下が激しい。
×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染の爆発的な拡大と、県の旅行補助キャンペーン中断のため、旅行の受注はゼロになった。今後も復活する見込みはない。
×	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・年明けから新型コロナウイルスオミクロン株が沖縄を皮切りに広がりを見せ、当地域でも3連休明けからかなりの勢いで毎日のように感染が広がりつつある。まん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言発出という予測もあり、今月中旬以降は2月までの予約の取消しが続く、新規予約もこのままでは見通しが立たない難しい状況である。3月に入っている若干の予約も、このままの感染状況では難しいと思われる。第6波を経てインフルエンザのような位置付けになれば明るい兆しもあろうが、正直、目の前の波が収まらないと厳しい。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延防止等重点措置でどん底であり、生活ができない。
×	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約者数は計画の7割程度と伸び悩み、解約者数も前年比、前月比共に上回っており、かなりの悪化を感じる。
×	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が広がってきている。
×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・年始からの全国的な新型コロナウイルス新規感染者数の急増と例年よりも低い気温が、来場者数減少の要因と考えられる。
×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪い。

	×	その他レジヤ [スポーツレ ジャー紙] (広 告担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、明らかに人の流れが少なくなった。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	建設業 (営業担 当)	取引先の様子	・受注した仕事は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて実行という形が多い。景気や利益等は別としても、仕事がこなせる状況はよくみられるようになった。
	○	輸送業 (エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・国際航空貨物の動きは良好である。
	○	不動産業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・割高感のある価格水準から、やや良くなっている。
	□	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量 の動き	・最近全国的には新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増により景気は停滞気味になったが、3か月前と比べると同じ程度で、景気は余り変わらない。
	□	化学工業 (総務 秘書)	それ以外	・第6波が到来しまん延防止等重点措置が適用されているが、経済を止めないようにする意識が官民に醸成されてきたため、街には人出がある。旅行などは控えているが、外食やショッピングは、新型コロナウイルス発生前に近い状況にある。
	□	窯業・土石製品 製造業 (社員)	受注量や販売量 の動き	・半導体や電池関連製造業からの増産依頼が続いているが、設備を増強しようとしても部品が思うように入らない。休日出勤で賄っている。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量の落ち込む日があった。
	□	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・足元はそれなりに忙しいが、納期が重なっているだけで、本質的には仕事量が多いとは思えない。
	□	電気機械器具製 造業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・コロナ禍の影響はある程度抑えられているが、良化もしていない。
	□	電気機械器具製 造業 (経営者)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの自粛期間中に小さな店舗が廃業に追い込まれた客先が多数ある。客先業界全体の設備投資は、変わらず低調に推移している。
	□	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・売上は上がっているが、鋼材値上げ分を加味すると購入量、生産量共に横ばいが続いている。
	□	電気機械器具製 造業 (総務担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・ケーブルテレビ事業者を含む通信業界では、動画配信サービスの拡大等によるデータ量の増大に対応するため通信設備の更新が常に求められており、設備投資は継続的に行われている。ただし、高速通信機器を供給する側にも競争があり、半導体不足による部品代の高騰を販売価格に転嫁できず、利益を圧迫している。
	□	輸送用機械器具 製造業 (品質管 理担当)	取引先の様子	・取引先企業では、社員の削減が大幅に進んでいる。
	□	建設業 (役員)	受注価格や販売 価格の動き	・建設業としては受注が順調で予定どおりである。分譲住宅の販売では、新型コロナウイルスの影響があるのか今年に入って客の動きが例年と比べて悪い。海外勤務の人からは、新型コロナウイルスの影響で身動きが取れないため購入マインドが下がっているという話を聞く。
□	輸送業 (従業 員)	受注量や販売量 の動き	・小売業を中心に物量は増加しているが、自動車関連企業においては物量が鈍化している。輸送業界においても、燃料価格の高騰が企業経営に影響を及ぼしつつある。	
□	通信業 (総務担 当)	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染は恐らくピーク時を迎えており、これだけ行政から人流制限を強要されては、活動が制約され、最低限の買物での外出となって消費が滞ってくる。今は先行き不安で気分が暗いため、積極的な支出につながらない。	

□	通信業（法人営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 自治体は、令和3年度補正予算の新型コロナウイルス交付金を使って何とか急場をしのぐ住民や民間事業者を救済する算段で、さらにデジタル田園都市国家構想推進交付金という形で血税が配られることが決まった。これらの税金による消費喚起には、ある程度の短期的効果は認められるが、施策としては効果や成果がすぐに出る提案が採用されやすく、長期に消費を刺激するような使い方の提案はなかなか採用されにくいいため、通信インフラ事業者としては厳しい状況が変わらず続いている。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスオミクロン株の急激な新規感染者数の増加や小麦粉等の値上げによる食卓への影響等が心配される。プラス要素としては、本年の景気予想がマイナス5～プラス5%の幅で出ているなかで、経済4団体はプラス2～4%という数字を出している。しかし、消費の動きは下向きと考えるとかなり厳しい。
□	金融業（従業員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 現状においては、いろいろな部署や業種によって2極化している印象が強い。また、今後の物価上昇に対して心配している様子が見受けられる。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大していることで、取引先の職場でも自宅待機者が増え、業務が十分に回っていない状況である。株価も大きく下落しており、個人投資家の消費への意欲も減退している。
□	不動産業（開発担当）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> 分譲マンションの売行き及び価格には変化がない。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大してきたため、地元でもまん延防止等重点措置が適用されたこともあり、景気も横ばいを続けている。
□	会計事務所（職員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 年末から今年初めにかけては飲食店にも客が戻っているようだったが、まん延防止等重点措置が適用されてからは途端に来客数が減っている。直接消費者と接触しない業種は、売上、利益共に変わりはない。
□	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 年末年始にWebサイト、FAXからの注文が殺到したが、平年よりは減少している。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 部品の納入が悪く当社でも生産が思いどおりに進まない。各社同様の状態である。また、見積りのたびに単価が上昇し、多くの会社が苦慮している。
▲	食品品製造業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> 原料価格の高騰が4月以降も続く見込みで、販売価格の引上げをスムーズに実施できなければ、収益を圧迫することは必至である。
▲	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足と新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、自動車に関わる電子材料薬品の出荷量が減少した。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況悪化と度重なる悪天候の影響で、止まってしまった商談が多数ある。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での外出控え、取引先の休業で景気は下降している。
▲	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響による完成車メーカーの操業停止や操業ダウンの影響を受けている。
▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ホームセンター、ドラッグストア向けの消費者向け物量は前年より10%ほど下落し、自動車部品関連の物量も新型コロナウイルス感染者の発生による工場稼働停止の影響で大幅減少となっている。燃料コストも大幅に上昇しており、利益圧迫要因となっている。
▲	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 1月初めは客先の見込みも良い感じであった。しかし、ここに来て新型コロナウイルスオミクロン株の流行により、製造の方でブレーキが掛かったようだ。特に自動車関連産業の輸送は、メーカーが減産に入ったため落ち込みが大きい。

	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・飲食関係や居酒屋等の取引先では、まん延防止等重点措置により休業しているところがある。給付金があっても、やはり景気としては悪くなっているように思う。
	▲	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多いが、新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増加していることから、遠出する人が減少傾向にある影響を多少は受けている。外出自体はあることから、売上は前年と同程度で推移している。
	▲	公認会計士	それ以外	・新型コロナウイルスによる業績悪化が、飲食、賃貸、サービス業等といった特定業種の中堅・中小企業で具体的に始めている。新型コロナウイルス発生前からの中堅・中小企業の収益性の低さ、生産性の低さや後継者難等の問題が、新型コロナウイルスの影響で深刻化している。
	×	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の低下により前年比でも減少であった。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、見積量共にこの時期としては非常に低調で、2～3割減くらいであった。
	×	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの取扱荷物量は、前年、前々年並びに3年前と比べても下回っている。新型コロナウイルスの影響も当然あると思うが、起爆剤となるような新商品・新製品の発表など景気が上向き気配がなく、停滞している。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシが年明けから減ってきている。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・前年末から少しずつ派遣依頼数が増えてきている。
	○	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車製造各社において前年より半導体不足と部品供給遅れによる一時稼働停止があり、その分の生産調整を1月から実施予定であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大によって1月も一時稼働停止が発生し、減産となっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月と比べて増加傾向が継続している。製造業のうち主要業種である輸送用機械器具製造業の求人数は、完成車メーカーにより差はあるものの、半導体等の部品の供給不足の影響が改善傾向にある等の理由から、前年同月と比べ増加が続いている。
	○	職業安定所（次長）	求人数の動き	・職種別有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、全ての職種で上回っている。基幹産業である製造業の職種についても、海外からの部品調達の影響等の声を聞くものの、全体として求人数の増加が続いている。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・法人側が来年度4月入社に向けて推進をしている状況であり、求人数も堅調に推移している。
	□	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・引き続き開発現場では人材不足の状況が継続している。
	□	人材派遣会社（企画統括）	求職者数の動き	・求職者の動きが鈍く、新規登録者数が低調である。
	□	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・所属拠点のエンジニア稼働率は安定稼働の水域に達しているが、主要客との取引量は引き続き減少傾向にあり、売上額となるエンジニアの稼働数は微減となっている。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・半導体不足の影響を受け製造業の減産体制が続いている。そのような状況でも今後を見据えて人手確保に動く企業も多いが、市場の動きは鈍く景気回復には至っていないと感じる。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染動向が見通せず、様子見の状況である。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症の状況は不透明であるものの、企業からの求人数は増加傾向にある。一方、まん延防止等重点措置による経済活動の停滞が、一部に見受けられる。

▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・自動車産業においては、生産は必要であるものの、人材不足、部品供給不足により改善されない状況である。外国人労働者の入国と部品の供給が回復すれば、比例して景気回復への第一歩となる。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による新型コロナウイルス新規感染者数が増加している。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・堅調に求人数が増加していたが、まん延防止等重点措置が適用され、求人数が3か月前比では減少に転じている。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・株価が大きく下がっている様子からも、景気が悪いと感じる。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・年明けからの新型コロナウイルスオミクロン株の大流行で、再び企業活動が停滞している。外食、流通や観光など広告出稿に積極的な業界が打撃を受けている。求人については、引き続き最低限の採用意欲はあり、余り変化はしていない。
▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・まん延防止等重点措置が適用され、雇用調整助成金に係る問合せが急に増えた。
×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・今月初めには小規模な会食での予約が入っていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加で、ほとんどキャンセルとなった。